

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 DoNabenetin あいち

事業名 防災食を通じた防災訓練、防災意識啓発事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

①長久手市立西小学校夏祭りにて防災に関するクイズの実施

対象者：長久手市民 人数：約 500 名

②リニモ防災フェスティバルにてパッククッキングの実施、配布

対象者：長久手市民、長久手西小校区住民、長久手市内の事業所、外国人住民

人数：約 200 名

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

①長久手市立西小学校夏祭りにて防災に関するクイズの実施：防災に関する知識を子どもたちに覚えてもらえた。参加者からは好評であった。防災フェスのチラシを配布することが出来た。

②リニモ防災フェスティバルにてパッククッキングの実施、配布：パッククッキングについての周知ができた。カレーライスを食べた方からは「おいしい」と言ってもらえた。サークルの名前を覚えてもらうきっかけになった。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

①長久手市立西小学校夏祭りにて防災に関するクイズの実施：なし

②リニモ防災フェスティバルにてパッククッキングの実施、配布：

イラストを多用したレシピを作成したが、紙のサイズが小さくじっくり見てくれる人が少なかった。→もっと大きな紙に書いて目立つように展示する

リニモ防災フェスをやること事態知らない方が多く、集客が難しかった。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

①長久手市立西小学校夏祭りにて防災に関するクイズの実施：来年度もブースを出展させてもらおう。

②リニモ防災フェスティバルにてパッククッキングの実施、配布：防災フェスの告知をサークル主催の子ども食堂等でも行って、来場者を増やしたい。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



着物を着た子供たちがヨーヨー釣りや防災のクイズにチャレンジしている写真です。

写真 2



（写真 2 の説明）

手前の鍋には袋に詰めたお米とカレーの材料を煮込んでいます。たくさんの方が挑戦しに来てくれました。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 石丸 ゼミ

事業名 ちいきづくり THE MOVIE

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① 打ち合わせ：共生推進課、長久手市民団体、学生他 8名
- ② 取材：長久手市郷土史研究会、松田よしひろ氏、水野康民氏、秋山隼大氏、中島直子氏、柴田竜伺氏、奥田美樹氏、青山健介氏に動画のための事前取材を実施
- ③ 撮影：上記取材者に対し、長久手市内各所および中部国際空港にて撮影
- ④ 動画編集と冊子編集および印刷

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① 市内で活動する方々のご紹介を頂き、取材者の決定がスムーズに進んだ。
- ② 取材場所の予約、取材の立会いを共生推進課に協力頂いたことで、事前取材がしやすかった。
- ③ 撮影の日程を決めるのがやや困難だったが、心よく取材に応じて頂いた。
取材や撮影を通じて、市民の活動を具体的に知ることが出来た。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ③取材先が7名1団体とやや多く、スケジュール調整が難しく、結果撮影日や編集期間が後ろにズレてしまったことから、今後は取材先を絞る必要がある。動画を撮影する上での個人情報の問題は今後あらかじめ打ち合わせをしっかりと行なっておくことが必要。
...

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ① 今回の取材先の方々が交流する機会を作りたい。
- ② 動画をより多くの市民の皆さんに見て頂く機会を作りたい。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



（写真 1 の説明）

開催準備中の長久手アートフェスティバル会場で、主催者の奥田美樹さんを学生たちが撮影する様子

写真 2



（写真 2 の説明）

古戦場公園で、学生たちが長久手市郷土史研究会の皆さんを撮影する様子。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 こどもがつくるまち実行委員会

事業名 こどもがつくるまち

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

対象者：長久手市内全校区の小学生

事業内容：こどもたちだけでまちをつくる

参加人数：66名

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

解決できたこと：主体的に動き、自分が社会の一員であることを自覚できた

参加者の反応：別紙 参加者アンケートまとめ参照

協働してよかったこと：全児童に告知できたこと、現場の視察により子どもたちの様子が伝わったこと

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

気付いた点：子どもたちが大人の指示がなくとも環境設定だけで自分らしく活動を始められること、ボランティアスタッフとして参加した学生・大人にも学びが深いこと

課題：送迎を車でする家庭が多いため、駐車場の確保や場所の明確さが必要

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

新たに取り組みたいこと：実社会と繋げて行くために、こどもが稼いだ通貨（らっせ）を実際に長久手市内の店舗などで使えるようにしていきたい。また、実行委員会から中学生に参加してもらいなど、企画段階から一緒に取り組みたい。

今後も継続して行うことで、子どもたちの成長とまちの成長を見届けていきたい。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



（写真 1 の説明）↑ 国王選挙の演説

一人ひとりが壇上に上がり、どのような国にしたいか話し、国民は真剣に聞いている様子

写真 2



（写真 2 の説明）↑ 参加者全員写真

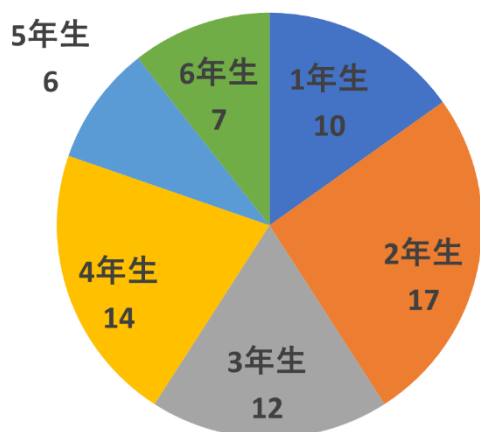
とても楽しい時間を過ごせた様子

2024 年 12 月 15 日(日)開催 第 1 回こどもがつくるまち

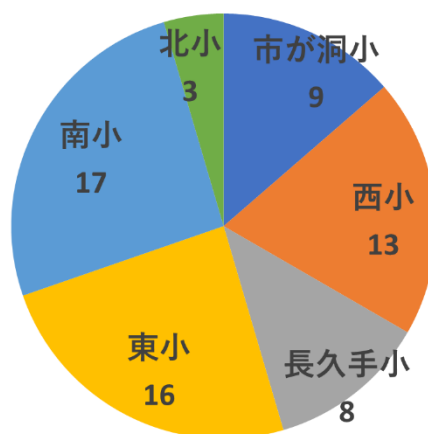
参加者アンケートまとめ

- イベント参加者数：66 名（申込 84 名、当日欠席 18 名）

参加者(66名) 学年別分布

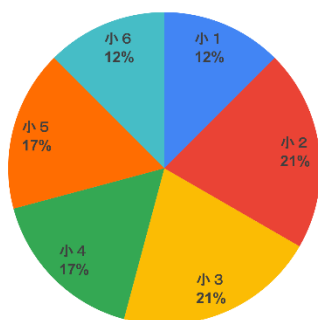


参加者(66名) 学区別分布

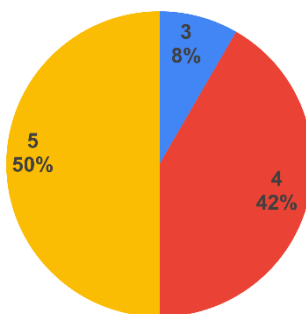


- アンケート回答数 17 件（参加者 24 人分）

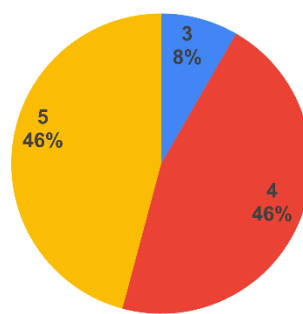
アンケート回答者 学年分布



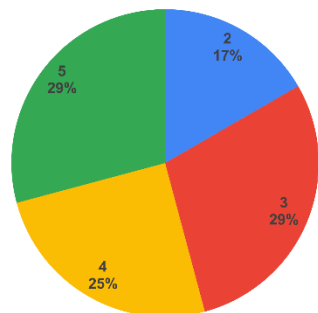
今回のイベントの総体評価
(1～5)



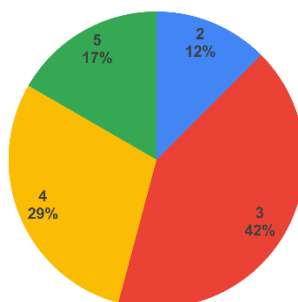
当日の運営についての保護者の評価
(1～5)



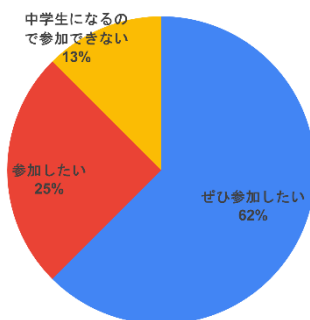
会場へのアクセス・送迎についての評価



情報のわかりやすさに対する評価
(チラシ・ホームページ・メールなど)



今後も参加したいですか？



【良かった点・ポジティブなフィードバック】

- 普段できない体験ができ、それぞれにやりたいことを見つけて楽しんで挑戦することができたようです。素晴らしい機会をありがとうございました！
- 子どもたちはとても楽しかったようで、帰って来てたくさん話をしてくれて、稼いだお金や買ったものを見せてくれました。来年は何か作ってお店を開きたいと意気込んでいます。来年も楽しみにしています！
- 子供達が主役となって街を作るという試み、普段はなかなかできないことなので、とても良い経験をさせていただいたと思います。
- 自分が作ったものを気に入って買ってもらえる喜び、なかなか売れない時はどうしたら売れるようになるか工夫するなど、さまざまなことを経験できたようです。
- 子供が生き生きとして帰ってきたのが私としても嬉しかったです。
- 楽しかった。
- 企画、運営にたくさんの方々にお世話になり、ありがとうございました。とても楽しく過ごした様子で、また絶対行きたい！と張り切っております。
- 楽しかったようで、次は家で何か作っていききたいと、また参加したいと言っていました。
- 最後になりますが、わたしはひとり親で頼れる人がいなく、現在は休職中ですが、本来なら平日は毎日仕事、土日は子供たちと3人で過ごし、わたしだけの時間は一切ありません。子供たちだけで行けるイベント、久しぶりの一人の時間で息抜きがとれた親御さんも多かったと思います。無料でこのようなイベントを開いて下さり本当にありがたく思っております。土日は出費を抑えるため家で過ごすことも多く、暇だ暇だと言われていたのでこのようなイベントには本当に助けられます。また来年も参加させていただきます、ありがとうございました。
- 子供達からとても楽しかったと聞き、嬉しく思いました。
- 今回本当に楽しかったようで、次回もまた参加したいと帰り道に言っていました。ご準備ありがとうございました。

【改善が必要な点・今後の課題】

- 車で送迎ができた方が助かります。
- HP が探しにくかったので、見つけやすくして頂きたいです。
- 学校からの e メッセージで送られてきた PDF も期限が切れて見れなくなってしまう困りました。
- 銀行の仕事をしなかったが、特定の上級生がずっと代わってくれなくて、何もできないまま諦めて他の仕事に移ったという話をしていました。人気のある職業は時間を決めて交代するよう声かけをしていただきたいと思います。
- 申し込みから開催まで期間が空いていたため、開催が近くなってから申し込み時のメールを確認したところ、1 通しか来ていなかったのでも 2 人分申し込めていなかったかと不安になり問い合わせをさせていただきました。申込確認のメールは兄弟で 1 通でも構いませんが、受付が済んでいる子どもの名前を記載していただけると分かりやすいと思います。
- どんな様子だったかが話でしかわからないので、実際見学することが難しければ動画配信などとしていただけたら嬉しいなと思いました。
- こどものまちといっているのに、大学生などの大人が関わりすぎているところを改善して欲しい。
- 着いてすぐに子供が受付へ行ってしまう、これ以上先は大人は進めませんと言われたので、子供と話すことができず、お昼の場所がわかるのか、お昼ご飯のタイミングを声かけしてくれるのか、わけも分からず楽しめなくて帰りたいそうにしていなかったか心配でしたが、お昼はこどものまちで仲良くなった子と食べて、最初はぼーっとしてたけど後から楽しかったと帰り道に教えてくれました。
- アクセス方法についてですが、県大についてから静かな雰囲気でも本当にイベントがやっているか不安になりました。道はシンプルだったので迷うことはなかったのですが、正門から 1 番奥の建物になるので看板などがあるといいなと思いました。モリコロパークの駐車場が 90 分無料なのでそこに車を停めて送り迎えしましたが、県大にも停めれるスペースがあったので一時的な送り迎えだけでも利用させてもらえたら嬉しいなと思いました。
- 子どもからの意見です。1、参加人数がもっと多いと良い。2、お店の数がもっと多いと良い。3、仕事の種類がもっとあると良い。4、税金の使い道が他にがあると良い。だそうです。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 長久手南親父会

事業名 こどもの笑顔を引き出す事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

活動日：2025/2/25 日 9時～12時
内容：一輪車修理作業、および一輪車体験会
参加人数：10人
修理台数：8台（サドル8台分、シートピン6台分の取り換え回転部メンテナンス）

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ・一輪車8台をきれいに修理できた。児童への安心安全な教育環境の提供に貢献できた。
- ・一輪車を通じて児童と地域コミュニティのつながりが強化された。
- ・体験会に参加して初めて一輪車に乗った児童から、また乗りたいとの声をいただいた。
- ・南小学校の感謝の会で、たくさんのお手紙を児童からいただいた。一輪車修理に対するお礼のお手紙も多数含まれていた。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ・今回、予算が限られる中、劣化したサドル14台のうち優先度の高い8台のサドルの交換ができたが、まだ6台のサドルは割れや欠けがあり、完全な修理には至らなかった。継続的なメンテナンスのしくみ作りや予算の確保が課題だと感じた。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ・修理できなかった6台については、損傷がさらに激しくなれば今後対応する予定。
- ・ニーズがあれば、他の備品等の修理についても検討します（検討中）。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



（写真 1 の説明）ボロボロのサドルを新しい物と交換し、シートピンをつけたところ。非常に乗り心地のよいものに仕上がりました！

写真 2



（写真 2 の説明）一輪車体験会の様子。一輪車に初めて乗った子も、体験会後に「一輪車は楽しい」と言っていたので、よいきっかけとなったと思う。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 パラジウム

事業名 ふくしのデザインファーム作り事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① 長久手市福祉課、社会福祉協議会、生活介護きらり、デイサービスるんるん、放課後等デイサービスポカラポットを取材。
- ② 「ふくし no いらすと」デザイン展開として、防災グッズ「きいろいスカーフ」を制作。長久手市福祉まつりにて案内、発信した。さらに、きらり、るんるん、さくらワークス。とペーパーフラワーのワークショップを実施。他にスカーフ、ラッピングペーパーを制作。
- ③ 「ふくし no いらすと」をデザイン展開した作品を、名古屋学芸大学卒業制作展（1/15～1/19 愛知県美術館ギャラリー）とリニモテラス（3/5～3/20）で展示した。
- ④ デザインファームとして、事業所が持つ強みを生かし事業所間（むそう×たかぎ作業所）をつないでものづくり（イラスト刺繍入りのハンカチ）に取り組んだ。

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① 多様な立場から事業所間がつながるためのアイデア・交流・発信の場の必要性を得られた。
- ② 防災への取り組みやグッズの需要など福祉課と共有し、アイデアを一緒にだすことができた。「きいろいスカーフ」をはじめ、作品のアイデアや絵柄の評判がよかった。
- ③ 学生の集客する卒業制作展と長久手市民が集うリニモテラスの2箇所で発信し、若者から市民全般へオープンな福祉の見せ方ができた。
- ④ 福祉課が主催した福祉業界の交流会（1/31 リニモテラス）へ参加して事業所の強みと弱みを話し合えた。双方の強みを生かし、弱みはデザインファームで補完することがデザインファームの役割であると位置付けられたことは、大きな成果であった。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

当初計画に掲げたウェブサイト作りよりも、審査会で指摘された、継続してコミュニティを形成していく関係作りをすることが重要と気づけた。そのための機会作りが継続課題である。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

今後は各事業所の強み、弱みを理解し、デザインを生かして事業所間がつながるものづくりに取り組み、商品化、販売への道筋を見出していきたい。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



（写真 1 の説明）事業所 さくらワークス。／きらり／るるん でのワークショップの様子

写真 2



（写真 2 の説明）きいろいスカーフ、スカーフ柄、ラッピングペーパー柄

写真 3



（写真 3 の説明）卒業制作展／リノモテラス展示の様子

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 名古屋外国語大学プレイスメイキング研究会

事業名 サウンドスケープに着目したまちの魅力創出とプラットフォームネットワーク事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① リスニングウォーク：長久手市市が洞に住む小学生、市が洞の自然の音に耳を澄ませて歩くウォーキングイベント、0人（イベントは学生4人と地域共生推進課の方1人で実行）
- ② 秋の音楽祭：長久手市市が洞に住む方々、リスニングウォークで記録した音とまちの魅力動画の披露と地域住民の楽器演奏や歌唱披露、約70人（出演6組）

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① リスニングウォーク：まちの音環境の魅力とエリア別の聞こえる音の違い発見、市が洞には自然の音が溢れているという発見、広報活動やウォーキングエリアの提案
- ② 秋の音楽祭：コミュニケーションの機会の提供と「たいようの杜」で過ごす方々に賑わいの提供、参加者全員で合唱や演奏を楽しんでいた、広報活動と開催場所の確認・許可、突然の開催場所変更による参加者の誘導・案内

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ① リスニングウォーク：ウォーキングイベントなど能動的なイベントは好まれにくく参加者募集が難しい、地域住民が能動的に参加するイベントにおいて参加者の募集
- ② 秋の音楽祭：「たいようの杜」には人との関わり合いを求める方々がたくさんいる、市が洞には地域イベントや交流イベントの機会を必要としている人がいる、常時的かつ長期的なイベントの開催や季節感・時間帯を重視したイベントの開催

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ① リスニングウォーク：地域住民に積極的に参加してもらえるように遊び心やゲーム感覚を取り入れたイベントにする、対象者を改め、エリアを絞って開催する
- ② 秋の音楽祭：春夏秋冬という季節ごとの音と景色を活かして開催、参加者体験型の音楽祭の開催、「たいようの杜」で常時イベント

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



（写真 1 の説明） 杵ヶ池公園でリスニングウォークをした時の様子。秋はじめの土曜日の午前中の杵ヶ池公園では、水辺で遊ぶ子供達の声と水の音、風に揺れる木々の音が聞こえる。

写真 2



（写真 2 の説明） 秋の音楽祭の様子。始まり早々から、「グランジ工房」さんがイベントを盛り上げて、会場が一体となって手拍子、音楽を楽しんでいる様子。

令和6年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 愛知淑徳大学まちづくり研究会

事業名 地域をつなぐコモンズづくり（つながりづくり＜コモンズ運営・イベント＞）

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① いきいき丁子田健康サロン：中西邸、丁子田集会所で健康相談を行ったり、身体測定や運動指導を行なった。参加者は中西邸 15 名、集会所 15 名
- ② ベンチ・掲示板の補修：昨年行なった居場所づくりの際に制作したベンチと掲示板の補修
- ③ 丁子田にみんなの居場所づくりませんか：中西邸に東京都市大学の坂倉杏介教授をお招きし、レクチャーで地域をつなぐ居場所づくりの事例を紹介していただき、その後学生や住民たちと意見交換を行なった。参加者 10 名

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① いきいき丁子田健康サロン：中西邸、丁子田集会所に高齢者を中心に多くの住民が参加し、愛知淑徳大学健康医療科学部の和田郁雄先生、飯田有輝先生のご協力のもと、健康相談を行ったり、身体測定や運動指導を行い、住民同士の交流と健康増進につながる活動となり、「また開催してほしい」との声も多くいただいた。
- ② ベンチ・掲示板の補修：補修を行うことでよりきれいで使いやすい居場所となった
- ③ 丁子田にみんなの居場所づくりませんか：坂倉杏介教授の実践してきた地域をつなぐ居場所づくりの事例を紹介していただき、具体的なデータなども示されて今後の居場所づくりやイベントに多くの示唆をいただいた。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ① いきいき丁子田健康サロン：参加者が想定よりも多く、当初想定していた二つの会場を行き来する人がほとんどおらず、各会場で参加者が固定されてしまった。
- ③ 丁子田にみんなの居場所づくりませんか：講師の都合で開催日程が決まるのが遅く、広報や準備に十分な時間をかけられなかった。多世代交流を生み出すため子育て世代の参加を狙っていたが、日程や、イベント内容で集めることができなかった。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ① いきいき丁子田健康サロン：また開催してほしいとの要望が多かったので、定期的な開催を目指したい。
- ③ 丁子田にみんなの居場所づくりませんか：子育て世代の参加を促す工夫をして、多世代交流が生まれるようなイベント、居場所づくりを進めていきたい。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

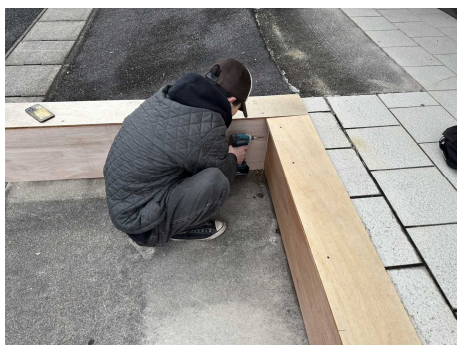
5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



（写真1の説明）

左：いきいき丁子田健康サロン 中西邸

右：いきいき丁子田健康サロン 丁子田集会所



（写真2の説明）

左：ベンチ・掲示板の補修

右：丁子田にみんなの居場所つくりませんか？

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。